

## 東部市場前駅 (JR大和路線) ②

## 桑津郷に残る髪長媛伝説を探して



「大阪あそび歩マップ集」  
その2 No.094

## JR東部市場前駅

東部市場は正式には大阪市中央卸売市場東部市場といいます。中央卸売市場が過密状態となった打開策として昭和39年(1964)に開設されました。青果・水産物などを扱い、取扱高全国第9位の大規模集積市場です。

## ① 桑津環濠集落

- 中世から続く環濠集落で昭和初期まで、およそ400年間残っていました。環濠の目的は自衛のほか、保水灌漑、洪水対策などです。外部に通じる道は北に2カ所、南に1カ所、西に1カ所の計4カ所ので、現在でもその地名として桑津北口・桑津南口などが残っています。入口には木戸が設けられ夜間は閉ざされ、村落内の道は細く先が見えないように屈曲したり、袋小路になっています。四辻も見通しが利かないようにずらされていて、入ってきたよそ者を惑わすようにつくられています。

## ② 桑津天神社

- 『日本書紀』によると応神天皇が日向の国から美女の誉高い髪長媛を召され、桑津に住ませたと記されています。媛はのちに仁徳天皇の妃となり、その宮跡が神社の起源といえます。桑津の地名は古代、桑の木が多い津(河内が内海であったときの港)に由来しますが、現在も名残の



- 桑の木があります。桑の葉で蚕を育て、繭から絹が作られますが、髪長媛は機織りの名手だったともいいます。

## ③ 桑津遺跡

- 昭和4年(1929)、桑津小学校の工事現場から弥生時代の土器や石器が出土。その後の発掘調査で周辺地域から縄文時代前期の石鏃なども見つかり、桑津に人が住み始めたのは約1万年以前に遡ると判明しました。また古墳、飛鳥、平安、中世、江戸の



- 各時代の石器、土器、集落跡、建物跡なども出土しています。平成3年(1991)、廃井戸の底からわが国最古の「呪符木簡」が発見されています。

## ④ 今川

- 狭山池を源流とする西除川の下流部です。大和川付け替え以前は水量も多く、灌漑に使われましたが、付け替え以降は水量が乏しくなりました。『万葉集』に「鳩鳥の息長川は絶えぬとも君に語るむ言尽きめやも」と詠まれた息長川は、この今川であるという説が有力です。

## ⑤ 杭全交差点

- 「くまた」と読みます。平安時代初期に平野区域は杭全庄と呼ばれ、坂上広野が領有しました。

## JR東部市場前駅

